

「ゼロからイチを生み出すちから イチから未来を 四日市」

(まちづくりの最上位の理念)

新総合計画が スタートします

今後10年間のまちづくりの方向性を示す新たな「総合計画」が、令和2年4月からスタートします。人口減少や少子高齢化など、日本全国で見られる問題が今後加速することで、多くの課題が顕在化することが予測されます。そのような状況で、四日市市が持続可能な都市として、市民の皆さんがより一層豊かで幸せに暮らしていくための計画についてご紹介します。

四日市市は、四つの将来都市像に基づいて、今後10年間のまちづくりを進めるよん



四日市市が目指す四つの将来都市像

1

充実した人生を歩むための
基盤を育み、誰もが憧れる

子育て・教育安心都市

四日市で子どもを産み、育てたい。四日市で学べて良かったと思える、子どもと家族にやさしいまちづくりを目指します。

2

東海地域をリードし、
地域社会のイノベーションを誘発する

産業・交流拠点都市

都市機能の集積と高次化、近未来技術の社会実装を進め、人の交流が仕事や魅力を生み出す好循環のまちづくりを目指します。

3

まちの未来を守り、
将来の市民にバトンをつなぐ

環境・防災先進都市

豊かな環境を基本とした都市整備と防災力強化を両輪に、快適性と安全・安心が高い水準で保たれたまちづくりを目指します。

4

四日市市に集まる人々の力を、
まちづくりの原動力にする

健康・生活充実都市

生涯にわたり健康で、暮らしの中で楽しみと幸せを実感できるまちづくりを目指します。



教えて! ここにゆうどうくん



総合計画ってどんな計画なの?

ボクたちが住む四日市市をどんなまちにするのか、長期的な視点でまちづくりの将来像を描くもので、まちづくりの「道しるべ」と言えるものなんだ。市民や事業者、市が一体となってまちづくりを進めていくための、市の最上位の計画だよん。

総合計画は、基本構想・基本計画・推進計画の3層構造となっています。

基本構想

本市の将来都市像や基本目標を示すもので、今後10年間のまちづくりの方向性を明らかにするものです。

基本計画

将来都市像を実現するため、施策の方向性を示すものです。

重点的横断戦略プラン

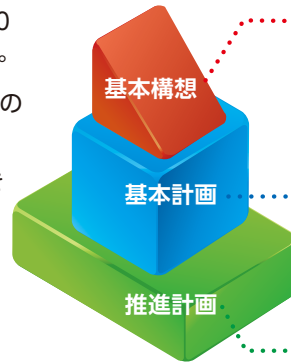
基本計画のうち、特に力を入れて取り組むべき分野横断型のプロジェクトをまとめたもの。

分野別基本政策

市民の暮らしに関わる分野において、着実に取り組むべき政策をまとめたもの。

推進計画

基本計画に掲げる施策の方向性に基づき、具体的な実施事業を示すものです。



・2020年度(令和2年度)～2029年度(令和11年度)(10年間)

・重点的横断戦略プラン
2020年度(令和2年度)～2024年度(令和6年度)(5年間)
・分野別基本政策
2020年度(令和2年度)～2029年度(令和11年度)(10年間)

・毎年ローリング方式

四日市市の今後の課題って何?

少子高齢化社会が本格的に到来することで、支える年代の人が少なくなって社会保障制度の維持が困難になることが危惧されているよ。また、人口が減って空き家が増加したり、人とのつながりが薄くなったりして、地域防犯力や防災力の低下につながるんじゃないかと懸念されているんだ。

そのほか、IoT・AI・ロボットなどの劇的な技術革新による「第4次産業革命」への対応や、「持続可能な社会」の実現(SDGs)に向けた取り組みなど、大きな変革の時代に適応していくことが必要なんだよん。

新しい総合計画ではどこに力を入れているの?

今回の総合計画では、基本計画の中で「重点的横断戦略プラン」を設けたんだ。

これは、いわゆる「縦割り」と呼ばれる仕事の仕方を変えて、市全体で課題の解決に取り組んでいこうとするものなんだ。例えば子育て施策だと、こども未来部や教育委員会の仕事と考えられてきたんだけど、さまざまな部署が分野横断的に取り組むことで、相乗的な効果を発揮していこうとするものなんだよん。

基本構想

本市の将来像や基本目標を示すもので、今後10年間のまちづくりの方向性を明らかにします。「四日市未来ビジョン」と「四つの将来都市像」の二つを基本目標として位置付け、10年後の未来(目指す姿)を実現していきます。

10年後の姿をイメージ



基本計画

四つの将来都市像を実現するために施策の方向性を示すもので、「重点的横断戦略プラン」と「分野別基本政策」の二本柱 となっています。

基本が大事



(1)重点的横断戦略プラン

将来都市像の実現に向け、特に力を入れて取り組むべき課題について、分野横断型の戦略プランとして重点的に推進します。

10年間のプランで、前半5年間は「子育てするなら四日市^{プラス}」「リージョン・コアYOKKAICHI」「幸せ、わくわく!四日市生活」という三つのプランを設定します。

令和7~11年度の後半5年間については、それまでの取り組みや進捗状況を十分に検証し、社会情勢の変化などに応じた新たな重点的横断戦略プランを策定します。



「子育て・教育安心都市」の実現に向けて

「子育て世代から選ばれる、誰もが安心して子育て・子育てできるまちづくり」を進めます。



「産業・交流拠点都市」「環境・防災先進都市」の実現に向けて

「多様な都市機能が集積し、人でにぎわい、まちの魅力にあふれるまちづくり」を進めます。

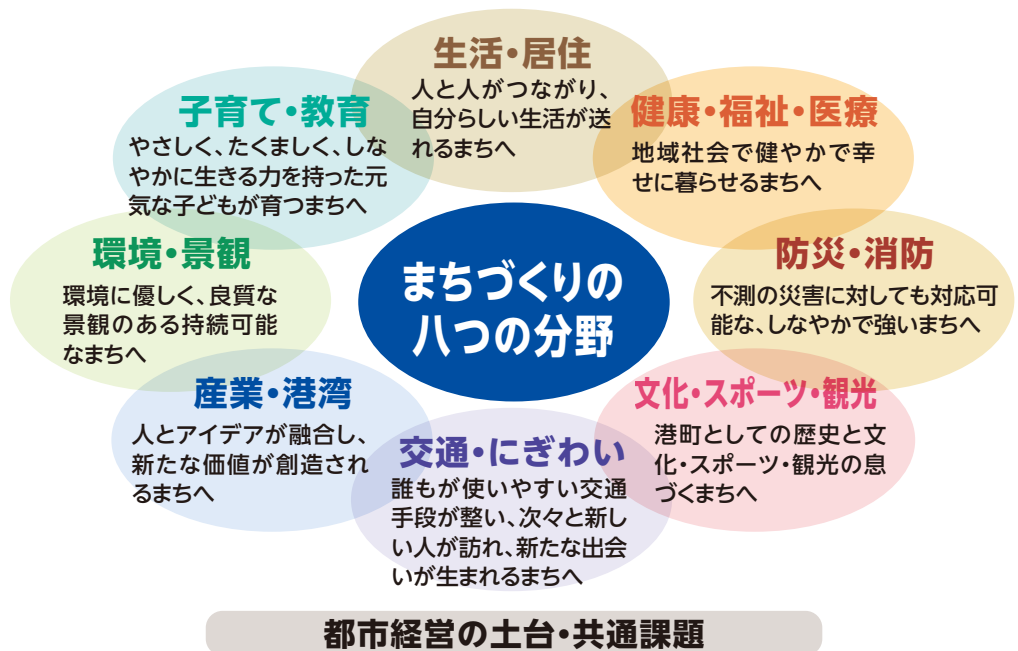


「健康・生活充実都市」の実現に向けて

「いつまでも元気で活躍でき、暮らしの中で楽しみと幸せを実感できるまちづくり」を進めます。

(2)分野別基本政策

市民の暮らしに関わるまちづくりの八つの分野において、着実に取り組むべき政策を位置付け、さまざまな取り組みを推進します。計画期間は10年間で、5年後の令和6年度に、それまでの取り組みや進捗状況を十分に検証し、社会情勢の変化などに応じた見直しを行います。



推進計画

基本計画に掲げる施策の方向性に基づき具体的な実施事業を示すもので、毎年見直しを行います(ローリング方式)。令和2年度に取り組む事業について、次ページからご紹介します。

毎年見直し



重点的横断戦略プラン①



「子育て・教育安心都市」の 実現に向けて

「四日市で子どもを産み、育てたい」「四日市で学べて良かった」と思える、子どもと家族に優しいまちづくりを目指します。

こんなことに
取り組めます



経済的負担を軽減して
子育て家庭の安心感を倍増

対象を小・中学生まで拡大

子ども医療費助成

平成30年4月から始まった子ども医療費の窓口負担無料化を、令和2年9月から小・中学生まで拡大するとともに、所得制限を廃止します。

大きな変革の時代に対応
最適化された学びを提供

先端技術を効果的に活用

ICT活用による学習環境整備

タブレット端末およびそれと連携して活用するプロジェクタセットを、小・中学校へ配備します。ICT活用実践推進校を設置して授業研究・授業改善を実施するほか、ICT支援員を配置します。



子どもたちの可能性を引き出し
豊かな感性を育む

本物に触れる

こども芸術体験

乳幼児と保護者を対象に、月1回ほどプロ音楽家による演奏会を開くなど、就学前芸術体験事業を実施します。



重点的横断戦略プラン②



「産業・交流拠点都市」 「環境・防災先進都市」の 実現に向けて

多様な都市機能が集積し、人でのぎわい、まちの魅力にあふれるまちづくりを目指します。

こんなことに
取り組めます

基本計画策定業務委託
プロポーザルで提案されたイメージ図



魅力高まる
都市機能の高次化

リニア中央新幹線開通に向けて 市の玄関口をリニューアル

令和9年に迎える東京一名古屋間のリニア中央新幹線開通に向けて、JR四日市駅・近鉄四日市駅の駅前空間の整備を進めます。市の玄関口にふさわしい空間をつくることで、居心地が良く、歩きたくなる魅力的なまちなかを形成していきます。

公園の再編を核とした
「空き」再活用計画

団地の活性化へ 住宅団地再生

坂部が丘賃貸住宅跡地や旧笹川西小学校跡地などの公的空間の「空き」や周辺の公園を再編し、子どもから高齢者までさまざまな年齢層が楽しめる公園や新規住宅地として利用転換することで、多世代の住むまちへ再生します。

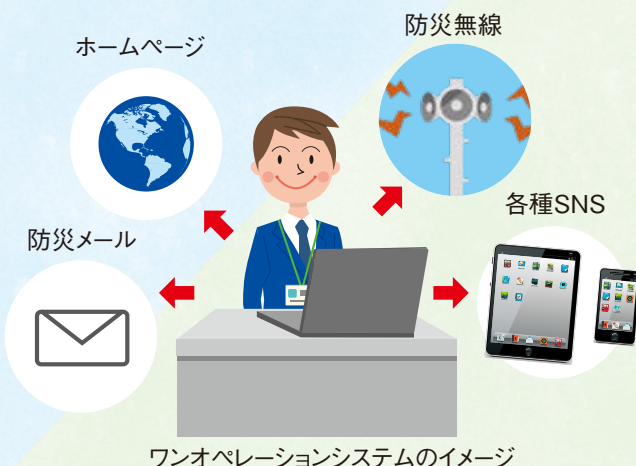


参考例:岐阜県養老公園

みんなで備える
地域防災連携強化

迅速な情報提供を 防災・減災に関する 情報伝達機能強化

複数の伝達手段に一齐送信が可能なワンオペレーション情報発信システムの構築や、スマートフォン等を活用した防災アプリの導入などによって、情報伝達機能の強化を図ります。



重点的横断戦略プラン③



「健康・生活充実都市」の 実現に向けて

生涯にわたり健康で、暮らしの中で楽しみと
幸せを実感できるまちづくりを目指します。

こんなことに
取り組みます

啓発事業に取り組む
認知症フレンズ
～イベントでの寸劇の様子～



いつまでも自分らしく
超高齢社会を生きる

家族の負担軽減にも取り組む

認知症総合支援

令和7年には、高齢者の5人に1人が認知症になると見込まれています。認知症サポーター・認知症フレンズを養成するほか、認知症の人の社会参加や家族負担軽減に有効な認知症カフェ事業を拡大します。

公園施設の充実を図り
魅力を高める

訪れたい公園へ

都市公園賑わい創出

公募設置管理制度(Park-PFI)を活用して中央緑地内に飲食施設などを整備し、魅力の向上を図ります。また、公園利用者が快適に過ごせる施設を設置し、公園に新たな賑わいを創出します。



中央緑地

「来て・見て・感じて」四日市ファンを増やす

最大級のまちおこしイベント

2020 東海・北陸 B-1グランプリin四日市

令和2年5月16日・17日
に、三重県内で初のB-1
グランプリを開催します。



スポーツのまち四日市へ

ハーフマラソン開催

令和3年3月7日に「四日市
ハーフマラソン」を初開催。市
外・県外からも広く参加を募
り、まちの魅力を発信します。



●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

政策推進課 ☎354-8112 FAX354-3974
広報マーケティング課 ☎354-8244 FAX354-8315